

第47回市町村議会 議員研修会 in 東京

地方自治の潮流を見すえ、
展望をひらく政策立案にむけて
課題を整理

隅田川・水上バス 写真提供(公財)東京観光財団

2019年5月20日(月)・21日(火)

会場: 駿河台記念館(中央大学)

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5
TEL 03-3292-3111 / FAX 03-3219-6190

1日目 全体会 13:00~16:50 (休憩・質疑含む)

講演

自治体再編の潮流とこれからの
自治体・まちづくり



中山 徹 奈良女子大学生活環境学部教授

地域が再編されようとしています。それはどのような方向に動きつつあるのか、なぜそのようなことが生じているのでしょうか。グローバル化時代、人口減少時代に市民の視点に立ち、市民生活を豊かにするためには、地域をどのように創り変える必要があるのでしょうか。これからの自治体のすがたを展望します。



都心空撮



神田古書店街

企画 ● 自治体問題研究所 主催 ● (株)自治体研究社

2日目 選科3コース 9:30~15:30 (休憩・質疑含む)

選科A・B・Cのいずれかをお選びいただけます。

選科A ●

どう向き合う、これからの
公共サービスの民営化・広域化



尾林 芳匡 八王子合同法律事務所弁護士
(水道・PFIなどアウトソーシング関連著作多数)

自治体の公共サービスの民営化・広域化は地域に何をもたらすのでしょうか。まずは、その手法と現況・これからの俯瞰します。水道事業や公立病院などの具体事例から現場で起きていることを学び、政策立案に活かせるように課題を整理します。そして、これからの公共サービスの民営化・広域化にどう向き合うか、どのような視点を持つべきかを共に考えましょう。

選科B ●

地域経済のいまと
地域産業政策のこれからを考える



鈴木 誠 愛知大学地域政策学部教授

いま地域経済(農林漁業・中小商工業・地域金融)にながら起きているのか、地方都市の厳しい現状と動向、その背景を知り、これからの地域産業政策を展望します。また地域の資源を生かし経済循環できるまちづくりにむけて課題を整理し、それぞれの自治体でなにができるかを実践事例から学びましょう。

選科C ●

子ども・子育て支援新制度の動向と
幼保無償化への対応

中山 徹 奈良女子大学生活環境学部教授

「子ども・子育て支援新制度」の動向を学び、自治体が施策を実施するうえで、いま押さえておくべき課題を、子ども・子育て支援策の先進事例を紹介しながら整理します。喫緊の課題としては、2019年10月から国が実施予定の幼児教育・保育の無償化についても取り上げ、その自治体への影響や、各自治体で補完すべき点などを考えます。

よくわかる！

市町村財政分析基礎講座

自治体の財政を学ぶことは、自分たちの自治体の課題をトータルにとらえる力、そのために考える力や能力を養うということです。自分たちのまちを自分たちで考えるために、自治体の財政を知ることは不可欠です。

当講座では、ご自分の自治体の決算カードや財政状況資料集等の実際のデータを使用し、自治体の財政分析に必要な基本的な知識を習得します。

「財政は苦手…」という方も、「習うより慣れろ」の大和田流財政分析法なら、繰り返すことにより、理解が進みます。

- ◆日時 **2019年5月20日(月), 21日(火)**
- ◆時間 1日目 13時～19時30分 2日目 9時15分～15時
(時間のある方は、2日目終了後、午後4時まで質疑や演習が可能です。)
- ◆会場 **都立多摩図書館 2階 セミナールーム**
JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅より徒歩7分、東京駅～西国分寺駅は快速で約45分
- ◆講師 **大和田 一紘** (NPO法人多摩住民自治研究所理事)
- ◆受講料 **27,000円** (税込、以下同様)
【割引】・多摩研新規入会 22,000円 ・多摩研会員 23,000円
・町村議員 25,000円 ・再受講 26,000円
- ◆宿泊 **宿泊は、各自でお手配ください。**
(お申込みをいただいた方には、国分寺駅・立川駅周辺ホテル等案内を送付いたします。)
- ◆テキスト 『**四訂版 習うより慣れろの市町村財政分析**』
(大和田一紘・石山雄貴 著、2,700円、自治体研究社)
- ◆申込方法 右記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはe-mailでお申込み。
または、下記URLにアクセスし、お申込みフォームよりお申込み。
http://www.tamaken.org/?page_id=1281

講座の特徴

- ◆総務省が出している各自治体の「決算カード」や「財政状況資料集」の読み方を学びます。自治体財政データの見方の基本を習得します。
- ◆ご自分の自治体の実際の財政データを使用し講義を進めるので、より関心を持ちやすいプログラムです。
- ◆講師の他にベテランのアシスタントがいるので、小さな疑問や不明な点も、気軽に質問でき、フォローが充実しています。

市町村財政分析基礎講座 申込用紙

■氏名
■領収書宛名 <small>※政務活動費をお使いの方は正確にご記入ください。</small>
■住所 〒
■電話
■FAX
■携帯電話
■e-mail
■テキスト事前購入 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
■割引 <input type="checkbox"/> 当研究所新規入会 <input type="checkbox"/> 当研究所会員 <input type="checkbox"/> 町村議員 <input type="checkbox"/> 再受講
■当研究所の催し等の案内 <input type="checkbox"/> e-mail <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 希望しない

議会「一般質問」のレベルが見違えるほど変わります

地域公共交通政策セミナーのご案内

～公共交通の再生に向けた地方議員のみなさまのための研修会

人口減少・少子高齢化の進行や自動車社会の進展に伴い、多くの地方自治体において、中心市街地の活力低下や地域交通の衰退が深刻化する中、こうした問題に対応するため、交通政策の基本的な考え方や先進事例、計画手法等を知りたいという声を多くの地方議会関係のみなさまからいただいています。「再生塾」では、これにお応えし、主に地方議員の方を対象としたワンデーセミナーを開催します。意欲のあるみなさまのご参加をお待ちいたします。

特定非営利活動法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾 理事長 正司 健一

●路線バスの赤字、縮小・廃止 ●公共交通サービスが不十分 ●コミュニティバスを実施中または計画中 ●中心市街地の活力低下 ●総合的な交通政策や戦略が必要 ●防災の視点からコンパクトな都市づくりが課題 ●観光振興をめざしている こういった課題を抱える自治体で、都市政策・交通政策・環境政策・観光政策等にご関心のある議員のみなさまを対象とし、少人数制にて、各々が現場で直面する実際の課題をお聞きし、触れながら、講演と意見交換を通して、さまざまな視点を提供します。

●プログラム

1	レクチャー 自治体における公共交通政策総論	(一社)グローバル流通推進機構 理事長 土井 勉
2	意見交換 私の問題意識	参加者のみなさまから
3	レクチャー いったい『まちづくり』ってなんでしょう?	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター上級研究員 小林 郁雄
4	レクチャー 公共交通政策の財政と負担	神戸大学大学院経営学研究科教授 正司 健一
5	レクチャー 公共交通政策の実践	(一社)システム科学研究所調査研究部長 東 徹
6	意見交換 質疑応答「持続可能なまちと地域公共交通-課題解決に向けて-」	上記講師

※講師陣は、各地の自治体等の交通政策に実際に取り組んでいる実践的な研究者たちです。(詳細は裏面)
※各地の具体的な課題(例:公営バス経営改善、コミバスが目指すべきあり方)にも言及。

●概要

日程	令和元年5月29日(水) 10:00~17:00	申込締切:5月22日(水)
定員	15名(先着順)	
参加費用	15,000円(誠に恐れ入りますが、手数料をご負担の上、お振り込みください)	
対象	主に地方議員(※地方議員以外の方も受講していただけます)	セミナーのようす
申込方法	FAXもしくはメールにて申込み ※申込書、問い合わせ先は裏面	
	会場 大阪私学会館 309号室 〒534-0026 大阪府大阪市都島区網島町6-20 電話:06-6352-3751 http://www.osaka-shigaku.gr.jp/kaikan/access/index.html ※会場へは公共交通をご利用下さい	

主催 : 特定非営利活動法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾
共催(予定): 京都大学大学院工学研究科・交通政策研究ユニット(予定)
後援(予定): 国土交通省近畿運輸局

参加者の声

- ・持続可能な公共交通体系を構築するための方策について、様々な角度から論じていただけた。今後の議会活動に活かしていきたい。(府県議会議員)
- ・「私の問題意識」と「質疑応答」の時間帯があり、今までのセミナーは話を聞くだけだったが、自らの意見を述べたり、質問したりできるのが良かった。(市町村議会議員)

NPO法人再生塾

議員対象セミナー

令和元年度

地域公共交通政策セミナー

公共交通の再生に向けた
地方議員のみなさまのための研修会

日程: 令和元年5月29日(水)

定員: 15名(先着順) ※申込締切: 5月22日(水)

参加費: 1万5千円

会場: 大阪私学会館

※地方議員以外の方も受講していただけます

少数精鋭のセミナー

交通まちづくりに強くなり
議会からまちを変えよう!

- 自治体の財政を健全化していくのに何が大切なのか。それぞれのデータが示す、本来の意味を検証し、正確な判断ができるよう、そのポイントを学びます。
- 行財政改革の手順、施策の展開や施策の優先順位について、具体的な流れを学習します。
- 自治体の基本計画こそが最上位計画であり、それを踏まえて、どういった財政フレームをつくるのがいいのか、中長期財政計画の作り方を学びます。

市町村 財政分析 ステップアップ講座

「よくわかる市町村財政分析基礎講座」で使用した分析用紙をもとに、経年的な財政の把握や、他の自治体との比較から、自分の自治体の財政を知り、今後の課題や展望を学びます。
地方財政の真の健全化とは一。

日時

2019年7月12日(金)・13日(土)

1日目 午後1時～午後7時30分 / 2日目 午前9時15分～午後3時
(時間のある方は2日目終了後、午後4時まで質疑や演習が可能です。)

会場

たましんRISURUホール
第1会議室

JR中央線/南武線
立川駅南口徒歩13分
東京駅一立川駅は快速約45分

講師

おおわだ いっこう
大和田 一紘 NPO法人多摩住民自治研究所理事

受講料

27,000円 (税込。以下同様)
当講座(財政分析基礎講座等は該当しません)の再受講者25,000円、
町村議員は24,000円、当研究所会員は22,000円、多摩研新規入会の方は21,000円

テキスト

『**四訂版 習うより慣れろの市町村財政分析**』
大和田一紘・著 2,700円(税込) 自治体研究社

宿泊

宿泊は、各自ご自分でお手配ください。
(申し込まれた方には、立川駅・国分寺駅周辺ホテル等案内を送付します)

定員

50名

お申込みは、裏面の申込書の必要事項をご記入(入力)の上、FAXかe-mailにてお送りください。
こちらからもお申込みいただけます → http://www.tamaken.org/?page_id=1281

NPO法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 エスプリ日野103
TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096 e-mail tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp
URL <http://www.tamaken.org/>

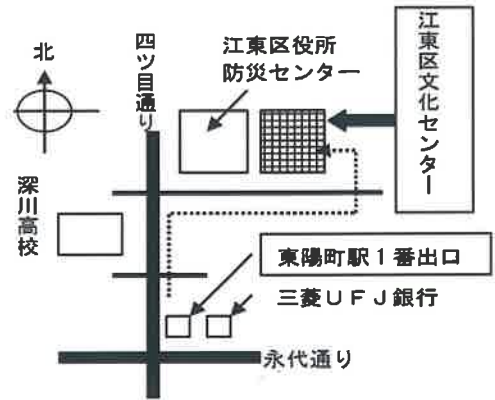
夏の自治体議員研修セミナー

テーマ：アベノミクス都市開発下で変質する都市計画と自治体

日時 **8月23日** (金)

午前10時(9時半開場)から午後4時50分まで

場所 東京メトロ東西線「東陽町駅1番出口」徒歩8分。「江東区文化センター」3階「大研修室」(江東区役所隣り。江東区東陽4-11-3)。「東陽町駅1番出口」から四ツ目通りを北へ5分、区役所手前の信号を右に入り、区役所隣りが会場。東側に回り込み階段を上がって2階が正面玄関。玄関の左のエレベータで3階へ。一番奥、突き当たり右の「大研修室」。東京メトロ東西線「東陽町(とうようちょう)駅」は「東京駅丸の内地下北口」直結の「大手町駅」から10分。「羽田空港駅」からは京浜急行線直通「日本橋駅」経由45分。



直結の「大手町駅」から10分。「羽田

新しいタイプのセミナー 現場の問題を持ち寄りともに考える

「聞き手と話し手が最新の現場に向き合い、ともに継続的に学び合う」学習・研究運動をめざします。

最新の再開発、区画整理、都市計画、公共施設再編の動向を追う

広がる立地適正化計画、コンパクトシティの動向と問題点、隠される再開発の「基本計画」「事業推進計画」の動向、「予算要望調書」における変ぼうの実態、「再開発を起爆剤とした公共施設再編」で広がる「玉突き再開発」、一部しか議論させない「パブリックコメント」、「再開発の予測方法」をどう磨くか。

当局とわたりあうのに不可欠な哲学と基礎知識を

学ぶ 時事問題の関心だけで当局とはわたりあうのは困難です。考え方の基本を磨き、基礎知識をおさえてこそ、真の力を発揮します。

新人からベテランまで—「自治体執行部」の独壇場を許さない論戦を。

主催 NPO法人区画整理・再開発対策全国連絡会議

162-8512 新宿区矢来町123 矢来ビル4F TEL 03-5261-4031 FAX 03-5261-4032

E-mail info@kukaku.org ホームページ「区画整理・再開発」で検索 <http://kukaku.org/>



再開発の掘り起こしが進む港区三田で

「全国地方議会サミット2019 チーム議会が地域をより良くする」

【日 時】 2019年8月1日（木）13：00～17：30
2019年8月2日（金）09：30～16：00

【場 所】 東京ビッグサイト 7階国際会議場（東京都江東区有明三丁目11-1）

■ 1日目：8月1日（木）13:00-17:30

13：00～ 【基調講演】「なぜ今“チーム議会”が必要なのか」

北川 正恭 氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）

13：20～ 【パネルディスカッション】「NHK地方議員2万人アンケートのホンネ」

江藤 俊昭 氏（山梨学院大学教授）

杉田 淳 氏（NHK報道局選挙プロジェクト副部長）

久保 隆 氏（NHK報道局選挙プロジェクト記者）

14：20～ 【パネルディスカッション】「チーム議会に職員だからできること」

清水 克士 氏（滋賀県大津市議会局次長）

小原 昌江 氏（岩手県北上市議会事務局議事課長）

岩崎 弘宜 氏（茨城県取手市議会事務局次長）

小林 宏子 氏（東京都羽村市議会事務局長）

15：35～ 【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く（その1）」

松田 崇義 氏（株式会社メディアドウ smart書記事業部長）

16：20～ 【講演】「チーム議会の視点から見る議会・議員の役割」

片山 善博 氏（早稲田大学教授、元総務大臣）

17：20～ 【総括】

北川 正恭 氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）

< 周辺 お 食 事 処 >



有明パークビル

レストラン 12店舗

デイリーヤマザキ

TFTビル

レストラン 17店舗

セブンイレブン、ミニストップ

東京ビッグサイト

レストラン 9店舗

ローソン、セブンイレブン

「全国地方議会サミット2019 チーム議会が地域をより良くする」

■ 2日目：8月2日（金）9:30-16:00

9：30～【先進事例報告】「チーム議会の実践と課題」

千葉 茂明氏（月刊「ガバナンス」編集長）
早苗 豊氏（北海道芽室町議会議長）
諸岡 覚氏（三重県四日市市議会議長）
梅村 均氏（愛知県岩倉市議会議長）

10：30～【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から首長との関係を考える」

北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）
谷畑 英吾氏（滋賀県湖南市長）
越田 謙治郎氏（兵庫県川西市市長）
上村 崇氏（京都府京田辺市長）

12：20～【先進事例報告】「チーム議会の視点から選挙のあり方考える」

中村 健氏（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）
則武 宣弘氏（公明党岡山市議団）
中原 淑子氏（公明党岡山市議団）
林 敏宏氏（公明党岡山市議団）

13：00～【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く（その2）」

米田 英輝氏（東京インタープレイ株式会社代表取締役）

13：40～【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から市民との関係を考える」

佐藤 淳氏（青森中央学院大学准教授）
瀧野 良枝氏（長野県飯綱町議会議員、元飯綱町議会政策サポーター）
竹下 修平氏（愛知県新城市議会議員、元新城市若者議会議長）
原口 佐知子氏（静岡県牧之原市 市民ファシリテーター）
田口 裕斗氏（岐阜県可児市議会高校生議会、現立命館大学3年）

14：45～【パネルディスカッション】「国会は地方議会をどう見ているか」

石破 茂氏（自由民主党衆議院議員、元地方創生担当大臣）
稲津 久氏（公明党衆議院議員、党地方議会局長）
逢坂 誠二氏（立憲民主党衆議院議員、元ニセコ町長）
廣瀬 克哉氏（法政大学教授）

15:45～【総括】

北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）



資料はこちら。
ユーザー名のみ
「summit2019」

終了後、アンケート
へのご協力をお願い
します→





ソウルの社会的経済

(都留文科大学文学部教員、
東京自治問題研究所理事長)

進藤 兵



先日、『マイ・ブックショップ』という素敵な映画を観た。一九五〇年代末、英国の小さな港町に一人の労働者出身の女性がやってきて、保守的な地域支配層に抗いながら、読むに値する本をそろえた小さな書店(戦死した夫の希望だった)を開く。

本を読んで人びとが討論する「公共圏」を創ろうとした彼女の試みは挫折するが、その挫折のなから希望を継承する新しい女性が育ってくる(弁証法的!そしてフェミニズム的!)。

この映画をみて、いままでに出会った書店を思いだした。ロンドンの労働組合会議(TUC)本部近くにある「ソーシャリスト・ブックマークス」(本の菜とマルクスの駄洒落)、マドリードの協同組合が運営する書店(社会運動の本が充実)・古本屋(失業者の仕事起こしになっている)、私の地元・霜降商店街の本屋さん、そしてソウルのある書店――。

今年一月に学生とともに韓国ソウル市でフィールドワークを行った。その際、マポ区のソンミサンマウル(ソンミ山周辺の庶民的な街区)を訪れた。ここは「三八六世代」(一九六〇年代生まれで八〇年代の民主化闘争のときに三〇歳代)が九〇年代に共同保育所を開くために集まって来、その後、再開発反対運動をもに闘いながら、住民たちが小中学校(フリースクール)、生協の店舗、診療所、低所得者むけ共同住宅、障がいをもつ青年のための作業所、有機野菜を使った食堂、弁当配達サービス(地域の青年の仕事起こし)、「まちの金庫」(金融機関)などを次々に起業していった。いまは劇場、市民祭り、コミュニティ放送局もある。

Vol.593
19.5

区画

再開発通信

めざせ!住民主権のまちづくり

各地/三原、和光、柏	3
解説/区画整理の事業計画変更に取消判決(羽村)	6
まち考/防災まちづくりが危ない	8
アングル/人口減少社会に向かつてなぜマンション建設か	10
本棚/橋本崇載著『棋士の一分―将棋界が変わるには―』	12

四訂版 習うより慣れるの
市町村
財政分析

9
1
5²7⁴

ISBN978-4-88037-662-2
C0033 ¥2500E



定価(本体2500円+税)

四訂版 習うより慣れるの
市町村財政分析

四訂版 習うより慣れるの

市町村 財政分析

基礎から
ステップアップ
まで

大和田一紘・石山雄貴=著

Oowada Ikkou

Ishiyama Yuuki

5大特徴

「地方財政状況調査表」に基づいて大幅改訂

1. 一話完結・図表中心の53講で段階的に理解できる
2. 巻末の分析表に書き込めば、わがまちの財政がわかる
3. パソコンさえあれば、財政資料が入手できる
4. 自治体広報から決算カード、決算統計、予算書まで読みこなせる
5. 各地の市民による手づくり「財政白書」の成果を紹介

基礎からステップアップまで 大和田一紘・石山雄貴=著

自治体
研究社

自治体研究社

ISBN978-4-88037-695-0
C0036 ¥1300E

定価(本体1300円+税)



9784880376950



1920036013005

だれのための 保育制度 改革



無償化・待機児童解消
の真実

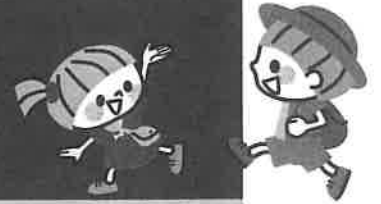
だれのための
保育制度改革

無償化・待機児童解消の真実

中山徹著

自治体
研究社

だれのための 保育制度 改革



無償化・待機児童解消
の真実

中山徹 著

Nakayama Toru

自治体研究社

世界の空き家対策

公民連携による
不動産活用とエリア再生

米山秀隆 編著

小林正典
室田昌子
小柳春一郎
倉橋透
周藤利一 著

世界の空き家対策

公民連携による
不動産活用と
エリア再生

米山秀隆
小林正典
室田昌子
小柳春一郎
倉橋透
周藤利一



9784761526863



1920052020001

ISBN978-4-7615-2686-3
C0052 ¥2000E

定価 本体2000円+税

2290



深刻化する「空き家」問題

全国実態調査から
みた現状と対策

〈編〉
日本弁護士連合会法律サービス展開本部
自治体等連携センター
日本弁護士連合会公害対策・環境保全委員会

明石書店

深刻化する
「空き家」問題

全国実態調査からみた現状と対策

日本弁護士連合会法律サービス展開本部自治体等連携センター
日本弁護士連合会公害対策・環境保全委員会
〈編〉

明石書店



9784750346502

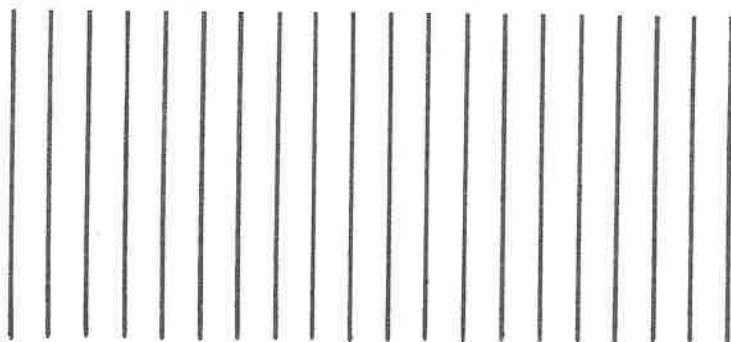


1920036024001

ISBN978-4-7503-4650-2

C0036 ¥2400E

定価(本体2,400円+税)



空き家を活かす

空間資源大国ニッポンの知恵

松村秀一
Matsumura Shuichi


Asahi Shinsho 695



* 695 空き家を活かす


9784022737984


1920236007507

ISBN978-4-02-273798-4
C0236 ¥750E

朝日新聞出版
定価： 本体750円 + 税

松村秀一

朝日新書



松村秀一 まつむら・しゅうち

1957年神戸市生まれ。東京大学大学院特任教授。80年東京大学工学部建築学科卒業。85年東京大学大学院博士課程修了。工学博士。86年より東京大学講師、助教授、教授を経て現職。HEAD研究会代表理事、建築技術支援協会代表理事、団地再生支援協会会長。日本建築学会賞(論文、2005年)、日本建築学会著作賞(15年)等受賞多数。

ひきこもりの ライフプラン

「親亡き後」をどうするか

斎藤 環
畠中 雅子



9784002708386

ISBN978-4-00-270838-6

C0336 ¥700E



1920336007001

定価(本体700円+税)

ひきこもりが生涯続いても
子を支えられる
ライフプランを考える



わかる、使えるくはじめの1冊>
岩波ブックレット

定価(本体700円+税)

ひきこもり状態にある人たちの平均年齢は今や30歳を超えている。大半は親の経済的支援のもとで暮らしているが、親の死亡に伴う、長期のひきこもりの人たちの貧困化が懸念される。ひきこもりが一生続いたとしても、親の現在の資産を最大限に活用して、子を生涯支えられるライフプランの作り方をアドバイスする。

岩波書店

2019年5月5・15日合併号

2200号 (毎月5、15、25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物認可
1部140円 月額400円 (郵送料月額123円)



平和新聞

発行 日本平和委員会

〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX03(3451)6277
振替 00100-4-83731
E-Mail (編集部) heishin@j-peace.org
<http://j-peace.org>

市民をつなぐ



↑「つなぐ」ポーズを決めるメンバー。左から高松さん、池田さん、当間さん



↑「ブルゾンちえみ」の
コスチュームで憲法をアピール

埼玉・フィフクロ 池田未来さん

憲法や政治を身近に感じてもらおうと、埼玉県内で市民に向けた憲法カフェや街頭宣伝、議会への陳情の提出などに取り組む団体があります。その名も「フィフティンクロス（市民とくらしと社会をつなぐ会）」（略称・フィフクロ）。中心を担うのは埼玉・戸田平和委員会で活動する池田未来さん（37）です。その取り組みを取材しました。

池田さんがフィフクロの活動を始めたのは、国会で安保法制が可決され、共謀罪法案の審議が続けられていた2016年から17年頃です。蔵市内で開かれた政



池田未来さん

多彩な
活動で

憲法を伝える

ISBN978-4-88037-697-4
C0031 ¥2000E

定価(本体2000円+税)



9784880376974



1920031020008



公契約条例がひらく地域のしごと・くらし



永山利和
中村重美
著

自治体
研究社



公契約条例が ひらく 地域のしごと・くらし

永山利和・中村重美 著

自治体研究社

信発魅力の

ユーチューブで
お仕事情報番組



フリーランスを応援

茨城・水戸民商 なりわい研究室

茨城・水戸民主商工会(民商)は4月から、動画コンテンツ「ユーチューブを活用し「なりわい研究室」を開設しました。増え続けるフリーランスを民商の間として迎え入れることを目的とした動画は、画期的な取り組み。それは「時代のスタイルに合った新しい民商づくり」への挑戦でもあります。

分かりやすく好評

「はいー始めました、する、お仕事情報番組でなりわい研究室! この研 究室は「なりわい」、つま 研究室のことについて研究 室室長の「おかさん」。

「はいー始めました、する、お仕事情報番組でなりわい研究室! この研 究室は「なりわい」、つま 研究室のことについて研究 室室長の「おかさん」。

己紹介。この3人と民商事 務局員をアドバイザーに進 めていくのが「なりわい研 究室」です。

起業のやり方、値段の付

け方、確定申告や人脈づく

り、社会貢献の研究まで。

堅苦しい議論ではなく、自

営業の大変さや息抜きの方

法、そしてどうやったらも

うかるかのヒントも少々。

「ゆるくて突っ込みどころ

満載」のフリートークは「こ

れは大丈夫か?」という話



2019年

5月20日

全国商工団体連合会発行

東京都豊島区目白
2丁目36番13号
郵便番号 171-8575
電話 03(3987)4391
FAX 03(3988)0820

全商連のホームページ
<http://www.zenshoren.or.jp>
全商連のEメール
info@zenshoren.or.jp
全国商工新聞のEメール
hensyu@zenshoren.or.jp

Twitter 発信中
@zenkokushoukou



今週の紙面から

7面 安倍改憲ノー
5・3憲法集会開く



- ② 岐阜 コンビニ
- ③ 消費税 亀井静香
- ⑤ 岡山 倉敷民商
- 次号予定 米国が消費

農 民

食と農をまもる共同を

発行所 農民運動全国連合会(農民連)
〒173-0025 東京都板橋区熊野町47-11
社医研センター2階
☎03-5966-2224 FAX03-5966-2226
<http://www.nouminren.ne.jp/>
E-mail:shinbun@nouminren.ne.jp
毎週月曜日発行 定価月550円 1部140円(送料別)
会員の購読料は会費に含まれています

茨城・常陸野農民センター 小貫 武さん・三千代さん =かすみがうら市=



農民連は1月に開かれた第23回定期大会に向けた「仲間づくり月間」と、大会後の「春の大運動」に全国をあげて取り組み、各地で新たな仲間を迎え入れました。いま、「総対話運動と読者拡大運動」に取り組んでいます。この間、仲間に加わった新会員を紹介します。

農民連に入ってよかった

私は、農民連に入会してまもなく8カ月になりました。農民連に入ってよかったこと、それは人とのつながり・交流を持つことによって、自分の視野がいつそう広がったことです。

会員と交流で視野が広がった 税金で助け合い・教え合い・学ぶ

まずは税金対策にしても、お互いに助け合い、励まし合い、勉強会をするとうう

ことは、とても有意義なものです。わからないことを教え合い、学び合い、理解していくということ、自分にとって、とても価値のあることだと思えます。また、人と話をすることによって、お互いに情報交換もできます。

それにもまして、農業という職業は、自分の日々の努力の積み重ねに大きく左右されてくるものだと思います。いかにいいものをつくりだせるか、消費者に喜んで、同じ

んで食を...から、励んでまた、負です。今、農の悩み、足とい年々、年深刻化、あるけおいてまえていであるよ人の知恵でも、同



山口 朝5時にわらび